

博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所		専攻	発表者氏名	論文テーマ	
12月16日	10:00-11:00	大学美術館3F	油画	友清千聡 (友清ちさと)	継母なる大地
12月16日	11:00-12:00	中央棟 第5講義室	芸術学(美術教育)	有馬 寛子	生活を見つめる場から創造性へ ー北方性教育運動と生活版画教育運動を通してー
12月16日	13:00-13:50	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	石井 恭子	国宝「紅白芙蓉図」の研究 : 損傷地図からの想定復元模写を通して
12月16日	13:00-14:00	大学美術館3F 展示室4	先端芸術表現	田中 翼	新しい楽曲スタイルの創出のための音楽理論生成アルゴリズム
12月16日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(鍛金)	李 承玟	鍛金による祈りのかたち
12月16日	13:50-14:40	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	久下 有貴	ボストン美術館所蔵「法華堂根本曼荼羅」における表現技法の研究
12月16日	14:00-15:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(漆芸)	李 本育	漆芸形象表現による 木への信仰と祈願
12月16日	14:40-15:30	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	森田 早織	青蓮院所蔵国宝「不動明王二童子像」の表現技法に関する研究 ー造形表現と技法材料の関連性についてー
12月16日	15:00-16:00	絵画棟1F アトスペース1	先端芸術表現	ニコラ・ビュフ	オルタナティブ時代の中で自分のマニエラを作ることの思考
12月16日	15:30-16:30	総合工房棟・A棟地下1階 文化財会議室	文化財保存学 (保存科学)	李 堉	経年劣化紙資料を用いた加速劣化試験法の評価
12月16日	17:00-18:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (西洋美術史)	岩谷 秋美	ウィーンのシュテファン大聖堂 ー後期ゴシックにおけるハプスブルク家の聖堂造営理念ー
12月16日	18:00-19:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (西洋美術史)	鈴木 伸子	ロベール・カンパン研究ー周辺作品および15世紀から16世紀前半のネーデル ラント絵画における受容の問題を中心として
12月17日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	先端芸術表現	黒瀬 陽平	情報社会の彼岸 ——「負の拡張現実」とその両義性
12月17日	14:00-15:00	大学美術館 2Fテラス	油画(壁画)	水永 阿里紗	共鳴する素材——ステンドグラスと鋳物による空間の創造
12月17日	15:00-16:00	大学美術館3F 展示室3	先端芸術表現	大崎 晴地	美学的スキゾプレニアと生成するシステム
12月18日	10:00-11:00	大学美術館 2Fテラス	彫刻	内田 麻ゆ	違和と彫刻 ーデカルコマニーに見る対称性と浮遊するイメージー
12月18日	10:00-11:00	大学美術館3F	油画	皆川 俊平	星座的鏡面体 ——「渡り」のための方法論
12月18日	11:00-12:00	大学美術館 2Fテラス	彫刻	中西 紗和	ブロンズ鑄造彫刻における喪失と存在 ー「彫刻は墓である」という考察ー
12月18日	14:00-15:00	絵画棟1F 立体工房	油画(壁画)	村山 修二郎	植物を介したアート・コミュニケーションの実証的研究 ー地域と人がつながる創造的プロセスの誘発ー
12月18日	15:00-16:00	中央棟 第5講義室	芸術学 (美術解剖学)	益子 悠紀	児童のための「動きのある人体の描き方」に関する美術解剖学的研究
12月18日	15:00-16:00	大学美術館3F	油画(版画)	山田 彩加	命の繋がり ——芸術的観点から探求する生命の本質——
12月18日	15:00-16:00	大学美術館3F 展示室4	先端芸術表現	岩本 愛子	TOKYO GIRLS SENSATION ー「カワイイ」に潜在する2.5次元化した身体の考察ー
12月19日	10:00-11:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(木工芸)	菅野 麻依子	室内の庭ードメスティックアートの手法
12月19日	12:30-13:30	大学美術館3F 展示室4	デザイン	山口 幸太郎	視覚デザインによる概念の感覚化の研究
12月19日	13:00-14:00	中央棟 第3講義室	文化財保存学 (保存科学)	田口 智子	江戸時代銀貨の表面層の解析および色揚げ処理技法の復元
12月19日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(陶芸)	小林 佐和子	着色磁器で表現するマジックリアリズムの世界
12月19日	13:30-14:30	大学美術館3F	デザイン	櫻井 稔	ビットと身体をつなぐクリエイションツール研究
12月19日	14:30-15:30	大学美術館3F	日本画	繭山 桃子	胎内化する都市 ——楽園図——
12月19日	15:00-16:00	中央棟 第1演習室	文化財保存学 (保存科学)	釘屋 奈都子	室町時代末期から江戸時代の鎧に用いられた鉄鋼材料の製作と加飾
12月19日	15:30-16:30	大学美術館3F	日本画	吉村 幸子	存在のゆらぎ ——空気とかたち——
12月20日	10:00-11:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (日本・東洋美術史)	崔 在赫	「満洲美術」研究ー交差する満洲イメージの検証
12月20日	11:00-12:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (工芸史)	福島 雅子	徳川家康所用服飾類の研究
12月20日	18:00-20:00	中央棟 第3講義室	建築 (建築理論)	會田 涼子	19世紀フィレンツェにおける建築家ジュゼッペ・ポッジの都市改造に関する研究
12月24日	11:00-12:00	大学美術館B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・彫刻)	白澤 陽治	奈良時代木心乾漆像における心木構造の計画性についてー東京国立博物館日光菩薩像及び東京藝術大学月光菩薩像の模刻制作を通してー
12月24日	13:00-14:00	大学美術館B2F 展示室1	工芸(染織)	石井 亨	西洋と東洋のハイブリッド染色論 ー現代都市社会のアイコンー
12月24日	15:30-16:30	大学美術館3F	デザイン	趙 琰	非日常性を演出する茶空間の研究
12月24日	18:00-19:00	中央棟 第3講義室	芸術学 (西洋美術史)	巖谷 睦月	ルーチョ・フォンターナの空間主義 ——1946年から1958年までを中心に——